

“地域防災”意識が“郷土愛”を育てる

## ◎ “先人の地域防災”を学ぶ4年生の『水防』学習

11月1日、4年生が「合築記念日」にお話を聞いた講師の皆様の案内で、『東益津の水防への取り組み』の見学を行いました。土砂災害に備える山の手地区・低湿地の水害対策・排水機場の働きなどを、現地でくわしく説明していただきました。



地域の先人の「水防」への苦勞と努力を知ることで、地域への愛着が育ち、『防災』への意識が高まっていくことを期待します。

## ◎ “地域を愛する益津の子”を具現する東中生

12月3日の「地域防災訓練」は、津波警報により中止となってしまいました。この日に向け、7月・9月の「事前打合せ会」を重ね、防災担当役員さんと綿密な準備を整えてきたのに・・・日の目を見ませんでした。こんな活動が計画されていきました。

- ・避難場所（東益津中学校）で、各町内ごとに誘導・案内
  - ・救護班で、中学生による「防災クイズ」の実施
  - ・初期消火、可搬ポンプ放水訓練、炊き出し訓練
  - ・中学生がリーダーとして各訓練の内容説明や指示を行う
  - ・「命を守る」ための毛布：竹竿の人命救助を中学生が実演
- 来年に引き継ぎ・実施して頂けるよう、心より念願します。

## ◎ “地域防災”を通じて『地域の絆』が深まる

「いざ！」という時に中学生の活躍は頼りになります。小学生の頃から地域の中で様々な活動を体験し、「地域大好き」に育った中学生が“防災”という地域貢献活動に取り組むことで、C・S推進が『地域の絆』を一層深めてくれることになります。

## ◎ “みのりの秋” を楽しむ『焼き芋会』

11月4日、方ノ上美農里会員と子供会児童・中学生サポーター・保護者が、6月にツルをさしたサツマイモ掘りを実施しました。小学生を中学生が応援し、大きく育ったイモを掘って焼き芋にし美味しく頂きました。隣のコスモスが美しく咲いていました。



## ◎ “米作り体験学習” の成果を祝う『餅つき会』

11月30日、5年生が「餅つき」を体験しました。初夏の田植えに始まり秋の稲刈りまで、地域の方々の温かなご指導を頂きました。合築記念日には岡村さんに『専業農家の米作り』を学びました。多くの学習成果を祝い、つきたて餅を美味しく頂きました。



12月14日には、藁を使った『正月飾り作り』に取り組みます。こうした一連の体験学習こそC・Sの醍醐味と言えるでしょう。

## ◎ C・S活動を推進する“PTA”の応援

「餅つき会」には、PTA事業部の皆さんや各学級保護者の皆さんが多数応援にかけつけてくれました。親子で一緒に餅つきをするという、ほほえましい光景も見られました。



また、「正月飾り用」藁の“はかま取り”にもご協力を頂ききました。子どもたちの活動を裏で支える働きがC・Sの宝です。